



平成 30 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 幸 和 製 作 所
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 玉 田 秀 明
(コード番号：7807 東証 J A S D A Q)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 大 井 実
(TEL. 072-238-0605)

第 2 四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 30 年 4 月 6 日に公表した、平成 31 年 2 月期第 2 四半期業績予想（平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 2 月期連結業績予想数値と実績値との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想 (A)	2,532	74	73	20	5.09
実績値 (B)	2,387	△62	△38	△133	△33.21
増減額 (B - A)	△144	△137	△112	△153	
増減率 (%)	△5.7	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	2,732	396	344	250	73.67

(差異の理由)

平成 31 年 2 月期における当社グループの売上高は、主に当期に売上拡大を計画しておりましたロータ型歩行車「Michele (ミケーレ)」の自主回収にともなう出荷停止などの影響により予想を下回りました。損益面については、利益率の高い歩行車の売上高の減少により売上総利益が減少したことや人員の増加および人事制度の見直し等により人件費が増加したこと、また、介護ロボット開発のための試験研究費の増加の影響により、経常利益は予想を下回る結果となりました。

また、特別損失に製品自主回収関連費用の計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は予想を下回りました。

以上